

定例記者会見（令和6年2月26日（月）12：00）会見場所：市政記者クラブ

1. 「下関市安岡地区複合施設」愛称募集について

（市民部まちづくり政策課）

本日の定例記者会見は、市民部、総合政策部から2件となります。

1件目は「下関市安岡地区複合施設」愛称募集についてです。

現在、旧園芸センター跡地に整備中の「安岡地区複合施設」は、コミュニティセンター、図書館、安岡支所、都市公園で構成されており、コミュニティセンターには講堂、研修室、レクリエーション室、キッチンスタジオなど地域の皆さまの多様な活動を支える施設のほか、展示会や園芸相談を行うことが可能な園芸機能を備えた園芸棟、芝生広場がございます。また、図書館からは緑の眺望が楽しめるなど緑あふれる施設となっております。

そこで、令和7年1月にオープン予定の安岡地区複合施設が、皆さまからより愛着を持たれる施設となるよう、愛称を募集いたします。

募集は、3月1日から4月1日までです。詳しくは、お手元の愛称募集要項をご覧ください。

皆さまから長く親しまれる新しい施設の愛称をおまちしています。

この件については、以上です。

2. カイキョーリボンプロジェクト社会実験について

(総合政策部エリアビジョン推進室)

続きまして、カイキョーリボンプロジェクト社会実験についてです。

本市では、令和5年2月に策定した「あるかぼーと・唐戸エリアマスタープラン」に掲げている「日本を代表するウォーターフロントシティ」を実現するため、「カイキョーリボンプロジェクト」として議論を深めているところです。

昨年11月に開催した推進会議では、夜間景観のデザインを議論したところですが、その効果や実現可能性を確認するため、この度、3つの社会実験を実施します。

「夜の水ぎわを楽しむあかりの社会実験」は、3月15日から3月31日の16日間、海響館や周辺の植栽、港湾緑地のライトアップを行い、ゆっくりとくつろげる空間を創出するものです。

初日の3月15日 19時から点灯セレモニーを実施しますので、あかりによるぎわいを市民の皆様にご体験していただきたいと思っております。

次に、「カイキョー大噴水」は、推進会議においてエリアのランドマークとして提案のあった大噴水の実現に向けて、その効果や船舶航行への影響などを確認するため、3月15日と16日の2日間、海響館の前から海に向けて海上20メートルの高さまで放水を行い、7色の照明を照射する社会実験を実施します。

これら夜間景観をつくる実証とあわせて、新たな景色を海から楽しむコンテンツとして「カイキョーサンセットクルーズ」の社会実験を行います。3月15日と16日に実施しますが、16日は一般のモニターの方40人に乗船頂く予定です。市報、SNS等で募集案内をしていますので応募していただきたいと思っております。

海峡エリアが生まれ変わる姿を実際にお見せすることのできる、最初の実証実験となりますので、ぜひ大勢の方にお越しいただければと思います。

本日の記者会見は以上です。